

令和 2年度 第20回東日本高等学校弓道大会県予選会 要項

- 1 主催 群馬県高等学校体育連盟弓道専門部
- 2 開催日 令和 2年11月14日(土) 男女団体予選決勝・男女個人予選決勝
- 3 日程 受付(選手1名+顧問)-指定された時刻・監督会議-実施しない・開会式-実施しない
*大会競技役員は群馬県高体連弓道専門部強化部が行う。
*参加校への大会当番の割り振りはないが、自校行射中は看的小屋前に顧問は待機し、的前審判と自校の的中確認を行う。
- 4 会場 渋川青翠高等学校弓道場 渋川市渋川3912番地1 電話0279-24-2320
- 5 競技種目 近的競技 的中制 直径36cm霰的 (個人順位決定遠近競射では直径36cm線的を使用することがある)
- 6 競技種別 男子の部・女子の部
- 7 競技種類 団体戦…男女とも各校1チーム以内(正選手3名・補欠1名以内)
個人戦…団体出場者(団体戦の的中を個人戦の的中とし補欠戦は実施しない)
- 8 競技規則 全国高等学校体育連盟弓道競技規則・全国高等学校弓道大会競技運営細則による。
- 9 新型コロナウイルス対策 群馬県高等学校体育連盟作成の「新型コロナウイルス感染症に係る群馬県高体連主催事業大会等実施ガイドライン」に沿った対策を講じるとともに、細部については、各競技団体作成のガイドラインや群馬県作成の「新型コロナウイルス感染症に係る県主催イベント等開催ガイドライン」に準じた万全の対策を講じること。
- 10 競技方法 3人立 4射場 立射
団体戦 予選…1チーム24射(各自8射)を行い、上位8チームを通過とする。
*決勝トーナメントの組み合わせは的中順とし、同中の場合は立順の早いチームを上位とする。
*競射による決勝進出チームが複数ある場合も、立順の早いチームを上位とする。
団体戦 決勝…1チーム12射(各自4射)のトーナメント方式とする。
*同中の場合は1本競射を行い、勝敗を決定する。競射の1本目は替矢を使用するので替矢を準備する。
*5~8位決定戦のみ1チーム6射(各自2射)とする。同中の場合は予選の合計的中数で順位を決定する。
予選の合計的中数も同じ場合は1本競射を行い順位を決定する。
*選手の交代は2回認める。第3控に入るまでに所定の用紙に記入し、監督が本部に届け出ること。
*団体選手が新型コロナウイルスに感染または濃厚接触者と特定された場合、もしくは37.0度以上の発熱がある場合のみ専門部に登録している選手との変更を認める。選手交代と同様に監督が本部に届け出る。
*団体戦に限り時間制限をおこなう。(5分30秒で予鈴、6分で本鈴、ベルと同時に発射は失格)
個人戦 団体予選の個人合計の的中で順位を決定する。
*同中の場合は遠近競射(多人数の場合は複数的使用)で順位を決定。
- 11 競技順序 ①男子団体予選
②男子決勝進出8チームが決定しない場合の競射
③男子個人の順位決定遠近競射
④男子団体決勝トーナメント1回戦(各自4射)
⑤男子団体5~8位決定戦(各自2射)
⑥男子団体準決勝(各自4射)
⑦男子団体決勝戦(各自4射-第1・2射場)・3~4位決定戦(各自4射-第3・4射場)
⑧男子閉会式・表彰式
⑨男子代表校監督会議
⑩女子団体予選
⑪女子決勝進出8チームが決定しない場合の競射
⑫女子個人の順位決定遠近競射
⑬女子団体決勝トーナメント1回戦(各自4射)
⑭女子団体5~8位決定戦(各自2射)
⑮女子団体準決勝(各自4射)
⑯女子団体決勝戦(各自4射-第1・2射場)・3~4位決定戦(各自4射-第3・4射場)
⑰女子閉会式・表彰式
⑱女子代表校監督会議
- 12 引率監督 団体戦の引率責任者は、校長の認める当該校の職員とする。(公立学校にあつては教員とする。)
個人戦の引率責任者は、校長の認める学校の職員とする。(公立学校にあつては教員とする。)
校長から引率を委嘱された「部活動指導員」(学校教育法施行規則第78条の2に示された者)も可とする。
→「部活動指導員」に引率を委嘱する校長は、事前に県高体連会長に届け出る。

監督は校長が認める指導者とし、それが外部指導者の場合は傷害・賠償責任保険（スポーツ安全保険等）に必ず加入することを条件とする。

- 13 参加資格 選手は、学校教育法第1条に規定する高等学校（中等教育学校後期課程を含む）に在籍する生徒であること。大会申込までに高体連弓道競技専門部に登録した生徒であること。

年齢は早生まれの者は17歳以下とし、それ以外の者は18歳以下とする。

選手の学年は高校2年生以下とする。同一競技2回までとし、同一学年での出場は1回限りとする。

転校後6ヶ月未満のものは参加を認めない。ただし、一家転住の場合は、特例として参加を認める。

参加選手は、日常的に健康状態を確認し、当日は「健康状態申告書」を提出すること。

- 14 表彰 男女ともに

団体1位 賞状・楯・優勝カップ（持ち回り-前年度優勝校にレプリカ贈呈）

団体2位～3位 賞状・楯

団体4位～8位 賞状（専門部の賞状）

個人1位～5位 賞状・トロフィー

*昨年度団体優勝校「男・市前橋」「女・市前橋」は優勝カップの返還をする。

- 15 代表権 男女ともに団体戦上位3校に代表権が与えられる。（個人戦の代表権はない）

*東日本大会規模縮小実施により今年度は代表権が減少することがある。

*本大会に3人エントリーできない学校は、代表権は得られない。→下位より繰り上がる。

*本大会に5人エントリーできない学校は、5人立の代表権は得られない。→5人立のみ下位より繰り上がる。

*上位大会への代表権が認められなくても表彰、参加料などにおいては団体扱いとする。

*第20回東日本高等学校弓道大会 令和3年3月22日（月）～3月24日（水）於・北海道函館市

- 16 参加料 男女ともに1校2,000円（当日受けに払込むこと）

- 17 申込方法 ①申込ファイルに入力の上、11月5日（木）16:00（期限厳守）必着で下記宛メールする。

申込先 高体連弓道専門部 MAIL gunkyumi@yahoo.co.jp

②申込ファイルから出力した申込書に校長印を押印し11月9日必着で伊勢崎高校金山大弓宛に送付する。

- 18 プロ編成 11月10日（火）13:30より渋川青翠高校にて委員長・副委員長・常任委員により実施する。

- 19 注意事項 ①プログラムに記載された番号のゼッケンを右腰に付けること。

②引率責任者不在の場合は選手の参加は認めない。

③強化部以外の顧問昼食については、大会申込ファイルで事前に申し込みをする。

④弓具には記名しておくことが望ましい。（忘れ物があった時は忘れ物コーナーに置いておく）

⑤蹠の紐は小さく結ぶ。妻手の留め具や紐幅が広い押手蹠、小指付根押手蹠、ゴム底足袋の使用は禁止する。

⑥追い越し発射は追い越した矢を無効とする。

⑦進行の「起立・始め」の号令は矢取り終了後にかける。

（制限時間がない個人戦、計時が参考となる団体戦は最後の射手が足踏みを閉じたら号令をかける）

⑧替矢・替弦は選手が持って入場し、介添えはつけない。（弦切れの場合は進行が弓を張る）

⑨服装などについては顧問総会の取り決めに従うものとする。

⑩応援は拍手のみとする。観客席では私語はしない。

⑪貴重品の管理は各自で行うこと。

⑫会場での飲食等ででたゴミは必ず持ち帰ること。

⑬選手・学校関係者以外の会場への入場は禁止する。

（保護者や本大会登録選手以外の部員も入場できない）

◎大会申込書の提出で、学校名・学年・氏名の個人情報の取り扱いについて、承諾を得たものとする。

大会プログラム・事務連絡文書の記載、大会プログラム・結果のWebページへの掲載に使用する。

※Web公開する大会プログラムにはパスワードを設定し関係者以外は見られないようにする。